

経営比較分析表（令和3年度決算）

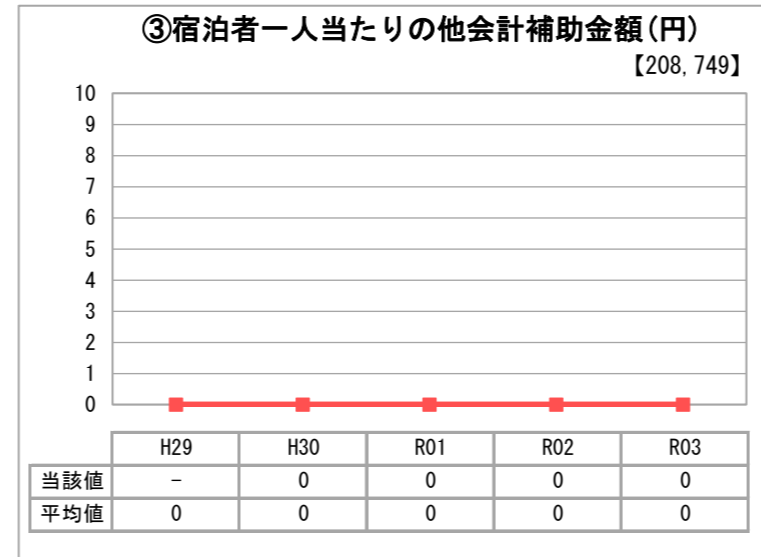
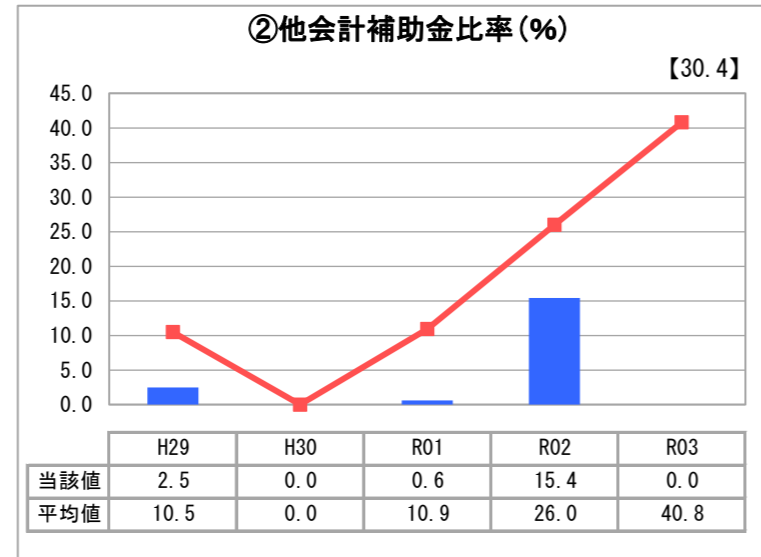
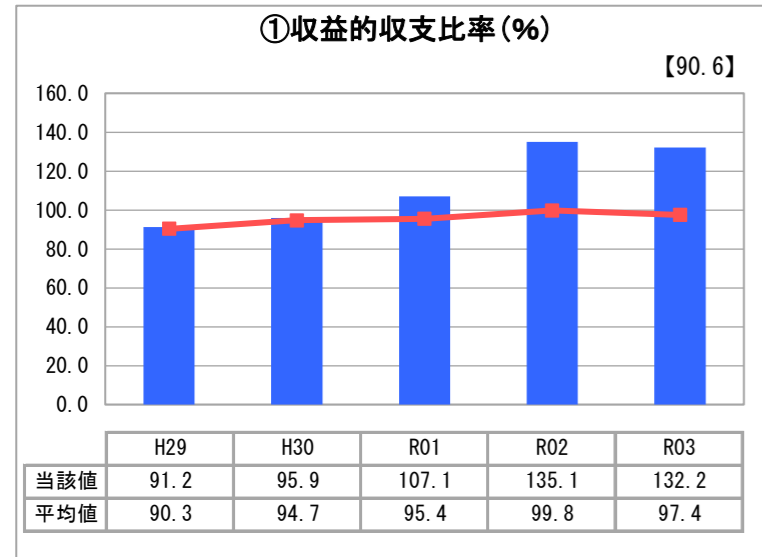
鳥取県鳥取市 しかの温泉館

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	C	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	3,971	0	

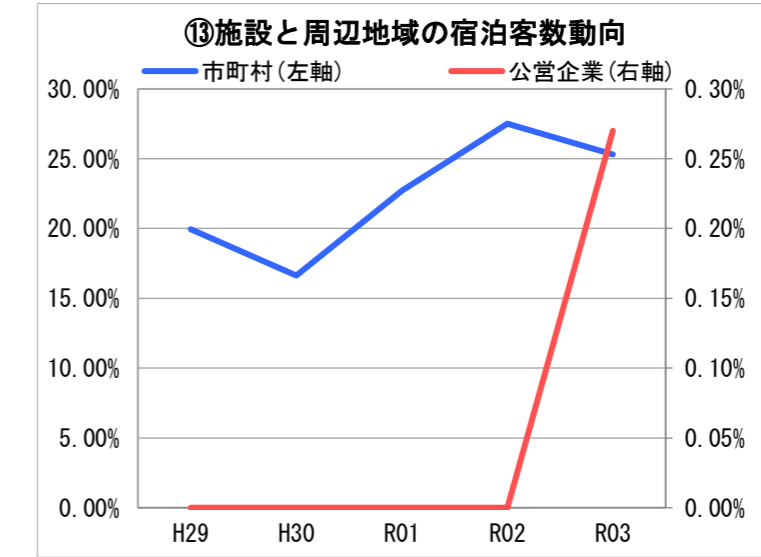
客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
387	利用料金制	-
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	62.5	有

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 しかの温泉館は国民保養温泉地にある温泉共同浴場施設。①指標より収益的収支比率は前年とほぼ同水準で推移しており、②指標から他会計補助金もないため純粋な黒字経営となった。利用者数、収入とも増加し健全経営に近付いている。③、④指標については、宿泊施設ではないため数値化なし。⑤指標の人員費率も前年値とほぼ横這いで目立った変化の要因もない。⑥指標より前年数値と比較して数値は増加しているため、施設の収益性が向上していることがわかる。⑦指標では、施設利用者数が増加したため、キャッシュフローが大きくなっていることがわかる。今後も現状が継続するようであれば、民間譲渡等の検討が生じる。

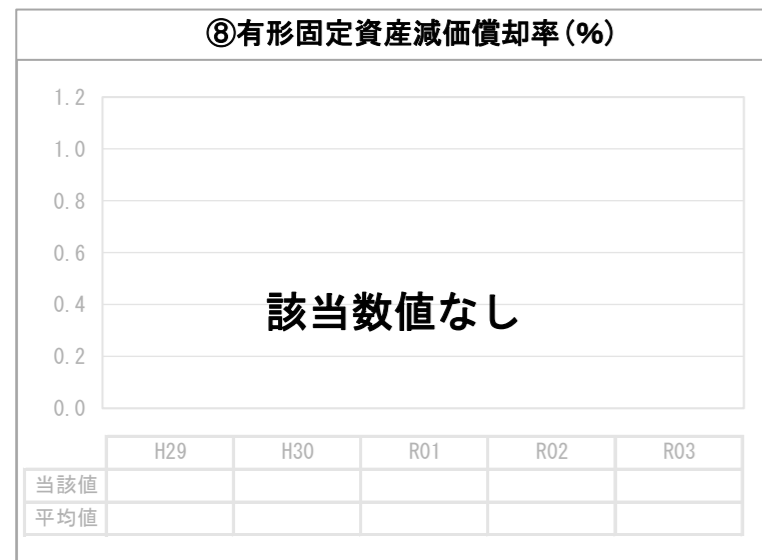
2. 資産等の状況について
 施設開設から30年が経過しようとしており、建物及び設備類に不具合を生じつつある。今後は設備類の更新や施設改修が必要となることが予想されるため、必要な老朽化対策を検討する必要がある。

3. 利用の状況について
 しかの温泉館は日帰り入浴施設であり、温泉利用者が施設利用人数となる。新型コロナウイルスの影響による利用者数の減少を懸念したが、年間利用者数は大きく増加した。

- ・利用者数の実績
- H29年度 86,638人
- H30年度 81,085人
- R元年度 86,051人
- R2年度 80,642人
- R3年度 98,404人

全体総括
 新型コロナ禍の中、新規キャンペーンや観光需要拡大事業の好影響で、利用者数が増加し黒字収支を計上できている。現状を継続できるよう期待する半面、今後、施設及び設備類の老朽化対策が必要となることが予想されるため、施設の在り方を含めた検討が必要となる。

2. 資産等の状況



⑨施設の資産価値(千円)

0

⑩設備投資見込額(千円)

0

